

第 6 学年 O 組 算数科学習指導案

1 単元 比 例

2 指導計画（8 時間完了）

- | | | |
|------------------|---|---|
| (1) 比例…………… 3 時間 | } | 比例の意味理解，定義と性質（本時 1 / 3）
比例関係の判断
比例する事象を見付けること |
| (2) 比例のグラフ… 4 時間 | | |
| (3) たしかめ道場… 1 時間 | | |

3 本時の指導

(1) 目 標

時間と水の深さの変化を通して，変化の考察の仕方を知り，比例の定義を理解することができる。【プリントの記述】（知識・理解）

(2) 情報活用能力の育成について

- 提示資料を見て，課題を解決するために必要な情報を集めることができる。
- 集めた情報を基に考え，根拠を明らかにしてまとめることができる。

（情報活用の実践力）

(3) 準 備

教師…コンピュータ，プロジェクタ，
30分間で水がいっぱいになる水槽の動画，
「ひみつのカード（水槽の高さが記入された見取り図）」，プリント

(4) 指導過程（斜体・太字…情報活用能力の育成にかかわる部分）

時間配分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点と方法
10分	1 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題には足りない情報があることを伝え，「ひみつのカード」に書いてあることが分かったら聞きに来るよう言うておく。 ○ <i>30分間で水槽の水がいっぱいになる動画を見て，何分で水がいっぱいになると思うか考えさせる。</i> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題をつかむことができたかどうかを挙手や発言からつかむ。
20分	2 課題を解決するための情報を集め，問題を解く。 (1) 情報を集める (2) 集めた情報を基に問題を解く。 (3) 考えを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1分後・2分後・3分後と水の高さが変化していく様子を提示する。 ○ 水がたまるまでの時間を計算で求めるためにはどんな情報が必要かを考える。 ・水槽の高さ ○ 「ひみつのカード」に書いてあることが分かったら聞きに来させる。 ★ 考えられない児童には，黒板の図に注目させ，表でまとめさせるように声掛けを行う。 ○ 集めた情報を基にどんな計算をすればよいか考えさせるようにする。 ○ <i>なぜそう考えたか根拠を明らかにして発表させるようにする。</i> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <i>必要な情報を集めているかをプリントの記述からつかむ。</i> ○ <i>集めた情報を基に根拠を明らかにしてまとめているかどうかをプリントの記述や発表の様子からつかむ。</i>
15分	3 比例についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水の深さと時間の関係を表にまとめる。 ○ 表を基に2つの数の関係について考えさせるようにする。 ○ このような増え方をする2つの数の関係を比例ということを伝え，比例の定義を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 比例の定義について理解することができたか，プリントの記述からつかむ。